

うちの電気が会社を動かす!?

SDGsラジオを読みましょう!

「地球温暖化」って、知っていますか?

地球が少しずつあたたかくなる地球温暖化の原因のひとつが、二酸化炭素などの「温室効果ガス」です。

だから、こうしたガスをできるだけ出さないくらし方が重要だと考えられています。

そこで、住まいづくりの会社「旭化成ホームズ」は、お客さまとっしょに電気をつくって、

みんなで使う「ヘーベル電気」というしくみをつくりました。このしくみでは、太陽の光から電気をつくるので、

地球にやさしいんです。さらに、家であまった電気を集めて、会社で使うことで、自然の力をむだなくいかそうとしています。

こうした取り組みによって、会社で使う電気も、できるだけ自然のエネルギーを使っています。

地球の未来を守るためには、一人ががんばるだけではなく、みんなで力を合わせる事が大切です。

そのために、何ができるでしょうか?考えてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう!



画像参照：太陽光発電のイメージ

わたしがくらすこの地球では、「地球温暖化」がどんどん進んでいます。その影響で、気温が上がったり、大雨や強い台風が増えたりするなど、私たちのくらしにもさまざまな問題が起きています。そこで注目を集めているのが、「脱炭素社会」という考え方です。これは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を、できるだけ出さないようにする社会のことです。この脱炭素社会をつくるために、世界では今、太陽の光や風などの自然の力を使って電気をつくる方法が広がっています。中でも「太陽光発電」は、電気をつくるときに二酸化炭素をほとんど出さず、家の屋根でも発電できる、「地球にやさしい電気のつくり方」として、日本でもいろいろな場所で使われています。

住まいづくりの会社「旭化成ホームズ」には、家の屋根にある太陽光パネルを使って電気をつくり、それを売ったり買ったりする「ヘーベル電気」というしくみがあります。そのしくみはまず、家でつくった電気を自分たちで使うことから始まります。そして、使わずにあまった電気は、旭化成ホームズが買い取ります。この買い取った電気は、会社のオフィスや工場、展示場などで使われます。こうすることで、家でつくられた電気をむだなく、使い切ることができます。この取り組みの大きな特長は、会社だけではなく「みんなとっしょに」電気を生み出し、社会で活用している点です。そしてこの取り組みによって旭化成ホームズは、かいしゃつかでんきしぜんしぜん会社で使う電気はすべて自然のエネルギーを使う「RE100」も達成しました。今社会ではさまざまな場所で、ヘーベル電気のような、未来のためにみんなで取り組む新しいしくみが広がっています。



画像参照：ヘーベル電気のイメージ図
(旭化成ホームズ公式 HP より)

キーワード

脱炭素社会

地球温暖化の原因となる二酸化炭素をできるだけ出さないようにしたり、減らしたりする社会のことです。太陽光発電などを使って、二酸化炭素を出さないようにする取り組みが進められています。

太陽光パネル

太陽の光を受けて電気をつくるための装置です。家の屋根などに取りつけて使われることが多く、太陽の光を電気に変えることができます。

RE100

「Renewable Energy 100%(リニューアブル・エナジー・ワンハンドレッド)」の略で、会社で使う電気は、すべて太陽光や風力などの自然のエネルギーを使うことをめざす活動です。

対象ゴール



みなさんにできること!

使っていないときはこまめに電気を消して、大切に使いましょう。

- 地球温暖化をこれ以上進めないために、「脱炭素社会」という考え方に注目が集まっている。
- 太陽光発電は脱炭素社会を実現するために、とても良い電気のつくり方の一つ。
- 「旭化成ホームズ」は、太陽光発電を使った「ヘーベル電気」という地球にやさしいしくみを広げていく取り組みを行っている。

メモ



SDGs ラジオ